

## 伝統ある花の展覧会で本県産花きの実力を発揮 ～ 第66回関東東海花の展覧会開催 ～

### 第66回関東東海花の展覧会

- 会期 / 2月1日(水)～5日(日) (品評会搬入審査 1日(水)～2日(木)、一般公開 3日(金)～5日(日))
- 場所 / サンシャインシティ文化会館2階展示ホールD (東京都豊島区池袋)
- 主催 / 関東東海地域12都県 (当番県・栃木県)、(一社)日本花き生産協会、(一社)日本花き卸売市場協会、他花き関係4団体
- 内容 / 品評会、フラワーデザインコンテスト、花と緑の装飾展示、栃木県特別展示、園芸教室、即売会、都県紹介コーナー

花に対する理解と消費の啓発を図り、花き産業の健全な発展に寄与するため、日本最大規模の伝統ある花の祭典「第66回関東東海花の展覧会」が今年も東京池袋で開催されました。当番県である栃木県による特別展示を始め、12都県の花き生産者が育てた自慢の花々による品評会、そして園芸教室や花の即売会などが行われ、多くの来場者が花とふれあう場となりました。



栃木県特別展示

テーマ「笑顔咲くVERY GOOD LOCALとちぎ」

### 入賞多数！品評会で本県花き生産の実力を発揮

2月1～2日に行われた品評会には関東東海地域の12都県から計1,920点の出品があり、本県からも、ばらや鉢物、一般鉢物の部門を中心に196点の出品がありました。

本県出品物の最高賞は、生産局長賞を受賞したばら「アマダ」(横堀氏・前橋市)、同じくシクラメン「フェアリーピコプチダブルバイカラー」(石川氏・板倉町)で、その他金賞10点、銀賞20点、銅賞33点の合計65点が入賞する結果となり、本県花き生産の技術レベルの高さを実証することができました。

特別賞を受賞した出品物は、花数の多さやボリューム感、均一性などに優れているほか、全体の発色や切り前(開花程度)、出品技術(花筒・花瓶への生け方)、鉢物では鉢とのバランス、枝物ではムラのない促成や枝折りの技術などの点で高い評価を得ていました。



会場の様子



農林水産省生産局長賞 ばら  
「アマダ」(横堀氏・前橋市)



農林水産省生産局長賞 シクラメン  
「フェアリーピコプチダブルバイカラー」(石川氏・板倉町)

### 第66回関東東海花の展覧会 主な本県出品物の品評会結果

賞名	特別賞名	部門(種類)	品種	生産者名
金賞	農林水産省生産局長賞	ばら	アマダ	横堀茂雄(前橋市)
"	"	シクラメン	フェアリーピコプチダブルバイカラー	石川英司(邑楽郡板倉町)
"	日本花き卸売市場協会会長賞	アジサイ	スウィートルナ	小内敬一(みどり市)
"	農林水産省関東農政局長賞	シクラメン	レジーナパープルバイカラー	小久保智広(邑楽郡明和町)
"	群馬県知事賞	ばら	ベニーレイン	今井善風(富岡市)
"	日本花き生産協会会長賞	シンビジウム	モカ	関根洋一(藤岡市)
"	関東地域花き普及振興協議会会長賞	ばら	ブロッサムピンク	櫻井新太郎(桐生市)

\* 本県出品数 / 196点 (さく17点、ばら34点、球根切花9点、一般切花14点、枝物32点、花苗10点、観葉植物2点、一般鉢物41点、洋ラン37点)

\* 本県入賞数 / 65点 (入賞全体の11%) 入賞内訳 / 金賞12点 (同13%)、銀賞20点 (同10%)、銅賞33点 (同11%)

### 雪害からの復興を目指す藤岡市のシンビジウムをPR！

主催12都県による都県紹介コーナーでは各都県による特産や新品種などが紹介されており、本県からは26年の雪害から復興が進んでいる藤岡市(JA たのふじ)のシンビジウム産地が紹介されました。旬な品種や新品種の展示とともに、雪害から回復している出荷量は4～5年後に年間30万本を超えることを花き関係者へPRしてしました。



本県産シンビジウムを展示・紹介